



みどりの子

令和8年6月号

所沢市立荒幡小学校
校長 小林 雅行

みんなが主役 キラキラスマイル

シン・荒幡春のスポ祭り

5月23日（土）の運動会には、保護者の皆様をはじめ地域の皆様にも多数ご来場いただき、児童の演技と競技に大きな声援と、盛大な拍手をいただきました。また、PTA本部役員の方々を中心に受付や巡回等のご協力をいただきました。改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

タイトルにある「**みんなが主役 キラキラスマイル シン・荒幡春のスポ祭り**」は各クラスから意見を出し合い、その意見を代表委員の子供たちがとりまとめた、今年の運動会のスローガンです。このスローガンの通り、一人一人が主役として、キラキラと輝く笑顔で、最後まで力を出し切ってくれました。運動会練習は、ゴールデンウイーク明けから本格化しました。わずか3週間の練習で、素晴らしい成果につながったのは、このテーマが、練習のときから児童、そして教師の心の中にあっただからだと思います。これからの様々な活動の中でも、活かしていきたい言葉だと思っています。

ところで、新年度が始まって2ヶ月ほど経ちますが、毎朝、笑顔で元気よく挨拶をしてくれる児童が増えました。挨拶に対する意識も変化してきていることを実感します。相手を思いやる気持ちは、まず、最初の挨拶からです。笑顔で言葉がけをすれば相手も笑顔を返します。笑顔いっぱいの学校からは、いじめやトラブルは無くなっていくと思います。相手に対する思いやりの気持ちを毎日の挨拶で表現していけるよう、学校と家庭が協力しながら指導を進めていきたいと思っています。

率先垂範 人の先頭に立って物事を行い、模範を示すこと

そのためにはまず、教師や保護者、地域の方々など「大人」が率先して行動を起こすことが大切です。子供は、親の行動やしぐさを見て育ち、親がしたように行動します。親の望むように我が子を育てたいと願うなら、その願いのように親自身が行動することです。「笑顔が素敵な子供」を育てたいのなら、親自身が飛び切りの笑顔を日々見せることです。また、「片付けが上手にできる子供」に育てたいのなら、親自身が片付け上手になって、手本を示せばよいのです。できるようになったなら「しっかりしてきたね」と言っは笑顔で褒め、上手に片付けられたら「偉いね」と優しく笑顔で話しかけ、心から優しい顔をすれば良いのだと思います。

よりよい子供たちへと成長させるために学校も教職員が一丸となり、全力で指導してまいります。引き続きご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。